

MFJ国内競技規則 2026

付則6 MFJカップ／地方選手権ロードレース大会特別規則

1 公示

MFJカップおよび地方選手権は、国際、国内、フレッシュマン、ジュニアライセンス所持者を対象に、各地域で開催される競技会であり、本国内競技規則ならびに選手権ごとに定められる特別規則によって運営される。

2 地方選手権

2-1 地方選手権の対象種目

地方選手権対象種目は以下に定める。

JP-SPORT・J-GP3・ST600 (ST600N)・ST1000※・インターJSB1000 (インターJSB1000N)

JSB1000クラスを除き、各クラスごとに、インタークラスとナショナルクラスのレースに区分される。

※2020年度よりナショナルJSB1000クラスは、ナショナルST1000クラスに統合されている。

2-2 参加資格

ナショナルクラス：

ロードレース国内、フレッシュマン、ジュニアライセンス所持者

インタークラス：

ロードレース国際 ライセンス所持者

2-3 レースの形態

・インタークラスとナショナルクラスは、参加台数により混走する場合がある。

・ST1000、JSB1000クラスは、参加台数により、各施設で設定されている承認競技クラスとの混走する場合がある。

・ST1000クラスとインターJSB1000クラス構成

クラス名称	ライセンス	ワンメイクタイヤ
ナショナル (Nat) ST1000	国内ライセンス	適用クラス
インター(Int) ST1000	国際ライセンス	適用クラス
インター(Int) JSB1000	国際ライセンス	適用外クラス

・地方選手権ナショナルST600とインターJSB1000クラスには、同一メーカーの公認車両間の互換性の認められた「Nクラス」が設定され、ST600とST600N、JSB1000とJSB1000Nクラスは、混走で車両区分にかかわらず、レースの結果に基づき、申請昇格ポイントが付与される。

2-4 優および得点

賞の詳細については、公式通知に示される。

得点は、付則1 MFJライセンス昇格・降格に関する規則 **4** 公認競技会で与えられる得点(ポイント)で与えられる得点(ポイント)によって与えられる。

2-4-3 成績結果と昇格制度

大会の成績結果は、インター(国際)とナショナル(国内)クラスで別成績管理とする。

国内から国際ライセンスへの昇格制度(ポイント)はナショナルクラスの「国内ライセンス所持者」に与えられる。昇格は「申請昇格」とし、昇格希望者は、申請期間中に申請しなければならない。フレッシュマンライセンスには昇格ポイントは付与されない。

2-4-3-2 「ジュニアライセンス」から「国内ライセンス」への申請昇格制度

ナショナルJP-SPORT、J-GP3クラス（J、RF、国内）の総合順位に応じて、ジュニアライセンス所持者に与えられる。

排気量クラス	クラス呼称	ライセンス	参加可否	昇格ポイント ○付与、×付与しない
JP-SPORT	インター(Int) JP-SPORT	国際	○	×
	ナショナル(Nat) JP-SPORT	国内	○	○
		フレッシュマン	○	×
	ジュニア	○	○	○国内への昇格制度
J-GP3	インター(Int) J-GP3	国際	○	×
	ナショナル(Nat) J-GP3	国内	○	○
		フレッシュマン	○	×
	ジュニア	○	○	○国内への昇格制度
ST600	インター(Int) ST600	国際	○	×
	ナショナル(Nat) ST600 (ST600N)	国内	○	○
		フレッシュマン	○	×
ST1000	インター(Int) ST1000	国際	○	×
	ナショナル(Nat) ST1000	国内	○	○
JSB1000	インター(Int) JSB1000	国際	○	×
参加可否 ○ 参加できる △ 主催者による				

3 MFJカップ JP-SPORT

3-1 MFJカップJP-SPORT選手権

全日本選手権に併催するJP-SPORTクラスはMFJカップ選手権シリーズとする。

3-2 参加資格と参加定員および出場料

3-2-1 参加資格

ナショナルクラス：

ロードレース国内、フレッシュマン、ジュニアライセンス所持者

インタークラス：

ロードレース国際 ライセンス所持者

3-2-2 参加定員

3-2-2-1 最大予選組2組までとする。

3-2-2-2 大会エントリー申込みが予選出走組数を超える場合は、主催者により決定される。

3-2-3 出場料

クラス	1大会出場料	料金
JP-SPORT	決勝1レース制（本体価格+消費税）	24,200円（22,000 + 2,200円）
	決勝2レース制（本体価格+消費税）	26,400円（24,000 + 2,400円）

3-3 レースの形態

インタークラスとナショナルクラスの混走レースとする。

決勝進出者の選出は、クラスにかかわらず各ライダーの予選ベストタイム順に選出される。

3-4 レースの運営

MFJカップの予選基準タイムは、トップタイム上位3名の平均タイムの108%以内

スタート進行は、付則5 全日本ロードレース選手権大会特別規則 18 スターティンググリッドおよびスタート方法 18-2 スタート方法が適用される。

3-5 基本スケジュール

公式予選・決勝は、基本的に土曜日に開催する。

競技会日程は、2026全日本ロードレース選手権シリーズカレンダーを参照。

3-6 賞および得点

3-6-1 賞の詳細については、公式通知に示される。

3-6-2 得点は、インター（国際）とナショナル（国内）クラス別に、付則1 MFJライセンス昇格・降格に関する規則 **4** 公認競技会で与えられる得点（ポイント）によって与えられる。

MFJカップ JP-SPORT 選手権 JP-SPORT クラスナショナルクラス（国内／RF／ジュニア）のシリーズ総合ランキングの上位5名以内のうち「国内ライセンス」所持者は、国際ライセンスへの申請昇格の権利が与えられる。ただし、フレッシュマンライセンスは除く。

ジュニアライセンス所持者は、シリーズポイント30点以上獲得した場合、国内ライセンスへの申請昇格の権利が与えられる。

3-6-3 ランキングの決定方法は、付則1 MFJライセンス昇格・降格に関する規則 **14** 全日本選手権ランキング決定基準が適用される。

3-6-4 ゼッケンナンバー

主催者によってゼッケンナンバーが割り当てられる。

ゼッケンナンバーは、1~99までの2桁の数字が指定される。

3-6-5 特記

3-6-5-1 第4戦 オートポリス大会は9月11日（木曜日）に特別スポーツ走行が設定される。

4 ワンメイクタイヤ特別規則

地方選手権ST1000、ST600クラスおよびMFJカップ、地方選手権のJP-SPORTクラスのタイヤは、下記のタイヤ規則が適用される。

4-1 ワンメイクタイヤ

4-1-1 タイヤは、予選、（ウォーミングアップラン）、決勝を通じて使用本数が定められる。

ただし、ウェットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。

4-1-2 ウェット時のタイヤ使用本数制限は行わない。ただし雨天時においてドライタイヤを使用する場合、マーキングされたタイヤのみ使用可能とする。

4-1-3 マーキングされたタイヤの破損

マーキングされたタイヤが転倒などの原因でタイヤ破損し、競技監督およびタイヤサプライヤーが走行不可と判断した場合、破損したタイヤを交換しなければならない。

破損タイヤは、主催者が保管し、決勝レースはピットスタートもしくは競技結果に30秒加算のペナルティーが科せられる。

4-1-4 タイヤ違反に対する罰則

ST1000、ST600、JP-SPORTクラスにおいて、タイヤ規制違反が発生した場合、以下の罰則を科せられる。

予選中：当該セッションの予選タイム無効（マーキング違反の場合）

指定ワンメイクタイヤ以外の使用の場合：失格

決勝中：失格

4-2 ST1000

4-2-1 タイヤは、予選、決勝を通じて使用本数1セット（前後タイヤ各1本）が定められ、タイヤにマーキングされる（耐久レースは、大会特別規則による）。

なお、マーキングしたタイヤの変更は認められない。

ただし、ウェットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。

ドライタイヤ	常にタイヤマーキングが必要
ウェットタイヤ	タイヤマーキング必要なし

4-2-2 タイヤはMFJが指定した下記のワンメイクタイヤのみ使用することができる。

ST1000指定タイヤ

銘柄	用途	F/R	名称	コンパウンド	サイズ
ダンロップ	ドライ	フロント	KR149	M3	120/70R17
			KR149	H3	120/70R17
		リヤ	SPORTMAX SLICK	SOFT	200/60R17
	ウェット	フロント	SPORTMAX SLICK	MED	200/60R17
			KR189	WA	120/70R17
		リヤ	KR405	WC	190/60R17

・指定タイヤはドライタイヤが2スペック登録され、ライダーおよびチームは当該レース開催時の状況でどちらのスペックを使用するか選択できる。

ただし、指定タイヤ供給メーカーが登録したタイヤ以外のスペックのタイヤは使用できない。

4-2-3

ダンロップ指定表示

地方選手権のST1000クラスは、ワンメイクタイヤ制度となりタイヤの使用およびダンロップ指定表示が参加者に対し、遵守事項として義務づけられる。

4-2-3-1

ダンロップ指定表示

4-2-3-1-1

参加者は、MFJおよび大会主催者に「ダンロップ広告」スペースを提供しなければならない。

4-2-3-1-2

「ダンロップ広告」の範囲は図1、図2のとおりとし、指定表示物（ステッカー）は大会主催者より配布され、指定された位置および角度への貼り付けが義務づけられる。

その指定位置左右に十分な間隔を空けてなければならない。

4-2-3-2

車両の広告スペース

下記の位置に貼り付けなければならない。

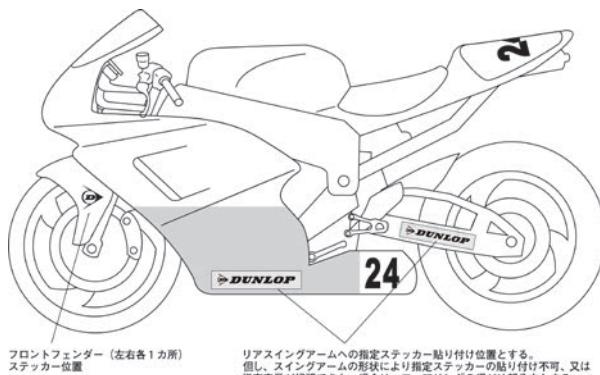
車両 ステッカー位置 (図1)	ロゴタイプ ※	サイズ (横×縦)
フロントフェンダー(左右各1カ所)		6.0cm × 7.5cm または 5.0cm × 6.5cm のいずれかのサイズ
スイングアーム (左右各1カ所) ただし、スイングアームへの貼り付け不可の場合、フェアリング (左右各1カ所) の指定されたエリア		22cm × 4.3cm

・原則は、リアスイングアームへの指定ステッカーの貼り付けとする。

ただし、スイングアーム形状により指定ステッカーが貼り付け不可、またはロゴが視認できない場合に限り、指定されたフェアリング部分への指定ステッカー貼り付けを認める。左右より指定ステッカーが視認できること。

※ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなる。

図1



4-2-3-3 ヘルメットまたはレーシングスーツの広告スペース

下表いずれかの箇所に「 または 」ロゴステッカーまたはワッペンを貼り付けなければならない。

ヘルメット／スーツステッカー位置 (図2)	ロゴタイプ ※	サイズ (横×縦)
ヘルメットのシールドの脇 (左右各1カ所) または、 ヘルメットサイド部分 (左右各1カ所) のいずれか指定されたエリアに貼り付け		3.1cm × 3.5cm
レーシングスーツ (前部分1カ所)		8cm × 1.6cm
		10cm × 2cm

※ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなる。

図2



4-2-3-4

上記、図1、図2のスペース以外の場所は参加者自身の特定の広告を貼り付けできるが、MFJおよび大会主催事務局によって拒否される場合があることを予め承知していなければならない。

拒否されるケース 他のタイヤマニファクチャーラー名、他のタイヤマニファクチャラーの商品名および公序良俗に反するもの、社会通念上奇異に感じられる名称など。※参加者の装具への貼り付けも含む。

4-2-3-5

公式行事

公式行事（表彰式、公式記者会見等）への出席、ならびに出席時のダンロップキャップの着用が義務づけられる。その場合は、他のキャップを被ることはできない。

公式行事とは、以下をいう。

1. ライダー写真撮影（個別、集合写真）
2. 公式記者会見（大会前、予選後、決勝後）および付随するインタビュー
3. 表彰式

4-3

ST600

4-3-1

タイヤは、予選、（ウォーミングアップラン）、決勝を通じて使用本数1セット（前後タイヤ各1本）が定められ、タイヤにマーキングされる（耐久レースは、大会特別規則による）。

なお、マーキングしたタイヤの変更は認められない。

ただし、ウェットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。

ドライ時・ウェット宣言中	ドライタイヤ	タイヤマーキングが必要
	ウェットタイヤ	タイヤマーキング必要なし

4-3-2

タイヤはMFJが指定した下記のワンメイクタイヤのみ使用することができる。

銘柄	用途	F/R	名称	サイズ
ブリヂストン	ドライ	フロント	BATTLAX RACING R11 NHS	120/600R17
		リア	BATTLAX RACING R11 NHS	180/640R17
	ウェット	フロント	RACING BATTLAX W01	120/600R17
		リア	RACING BATTLAX W01	190/650R17

刻印：ドライ、ウェットタイヤのサイドウォールに「NOT FOR HIGHWAY SERVICE」または「NOT FOR HIGHWAY USE」（一般公道走行不可）の記載のあるもの

4-3-3 ブリヂストン指定表示

地方選手権のST600クラスは、ワンメイクタイヤ制度となりタイヤの使用およびブリヂストン指定表示が参加者に対し、遵守事項として義務づけられる。

4-3-3-1 参加者は、MFJおよび大会主催者に「ブリヂストン広告」スペースを提供しなければならない。

4-3-3-2 「ブリヂストン広告」の範囲は図1、図2のとおりとし、指定表示物（ステッカー）は大会主催者より配布され、指定された位置および角度への貼り付けが義務づけられる。

その指定位置左右に十分な間隔を空けてなければならない。

レーシングスーツに貼り付けるワッペンについては有料となる。

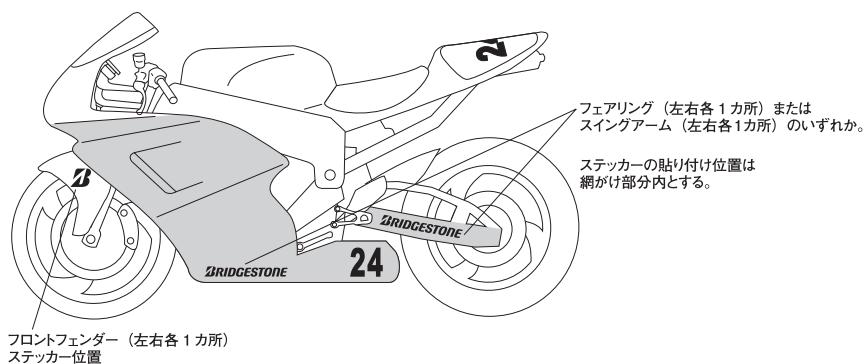
4-3-3-3 車両の広告スペース

下記の位置に貼り付けなければならない。

車両 ステッカー位置 (図1)	ロゴタイプ ※	サイズ (横×縦)
フロントフェンダー(左右各1カ所)		7.5cm × 6.5cm
フェアリング (左右各1カ所) または スイングアーム (左右各1カ所) のいずれか。		25cm × 3.5cm

※ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなります。

図1



4-3-3-4 ヘルメットまたはレーシングスーツの広告スペース

下表いずれかの箇所に「B」ロゴステッカーまたはワッペンを貼り付けなければならない。

ヘルメット／スーツステッカー位置 (図2)	ロゴタイプ	サイズ (横×縦)
ヘルメット シールドの脇 (左右各1カ所)		3cm × 2.7cm
レーシングスーツ (前部分1カ所)		6.5cm × 6cm

※ロゴタイプのステッカーおよびワッペンの実物はカラーのものとなる。

※ワッペンは有料となる。

図2



4-3-3-5

上記、図1、図2のスペース以外の場所は参加者自身の特定の広告を貼り付けできるが、MFJおよび大会主催事務局によって拒否される場合があることを予め承知していなければならない。

拒否されるケース 他のタイヤマニファクチャラー名、他のタイヤマニファクチャラーの商品名および公序良俗に反するもの、社会通念上奇異に感じられる名称など。※参加者の装具への貼り付けも含む。

4-3-3-6

公式行事

公式行事（表彰式、公式記者会見等）への出席、ならびに出席時のブリヂストンキャップの着用が義務づけられる。その場合は、他のキャップと併用して被ることはできない。

4-4

JP-SPORT

4-4-1

タイヤは、予選、（ウォーミングアップラン）、決勝を通じて使用本数1セット（前後タイヤ各1本）が定められ、タイヤにマーキングされる（耐久レースは、大会特別規則による）。

なお、マーキングしたタイヤの変更は認められない。

ただし、ウェットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。

ドライ時・ウェット宣言中	ドライタイヤ	タイヤマーキングが必要
	ウェットタイヤ	タイヤマーキング必要なし

4-4-2

タイヤはMFJが指定した下記のワンメイクタイヤのみ使用することができる。

銘柄	用途	F/R	名称	サイズ
ダンロップ	ドライ	フロント	DUNLOP KR410 (MED)	110/70R17
		リア	DUNLOP KR410 (MED)	140/70R17
	ウェット	フロント	DUNLOP RACING KR189 (WA)	110/70R17
		リア	DUNLOP RACING KR389 (WA)	140/65R17

4-4-2-1

使用できるタイヤは、下記表に示される各ホイール適合したサイズに合致したものに限定される。

ホイールサイズ	適合タイヤ(M/C)
17×3.50	140/70R17
17×4.00	140/70R17
17×4.50	140/70R17

4-4-2-1-1

レインタイヤは、フロント110/70R17、リア140/65R17のサイズに限定される。

※ Ninja ZX-25Rのレインタイヤ（フロント）使用時は、規定許容リム幅を超えていたため、付則11 JP-SPORT技術仕様 7-3-9 ホイール 7-3-9-5 ホイールの互換性にて適合する同一メーカーの公認車両のフロントホイールに交換して使用すること。

4-4-3

ダンロップ指定表示

MFJカップ、地方選手権のJP-SPORTクラスは、ワンメイクタイヤ制度となりタイヤの使用およびダン

ロップ指定表示が参加者に対し、遵守事項として義務づけられる。

4-4-3-1 参加者は、MFJ および大会主催者に「ダンロップ広告」スペースを提供しなければならない。

4-4-3-2 「ダンロップ広告」の範囲は図1のとおりとし、指定表示物（ステッカー）は大会主催者より配布され、指定された位置および角度への貼り付けが義務づけられる。

その指定位置左右に十分な間隔を空けてなければならない。

4-4-3-3 車両の広告スペース

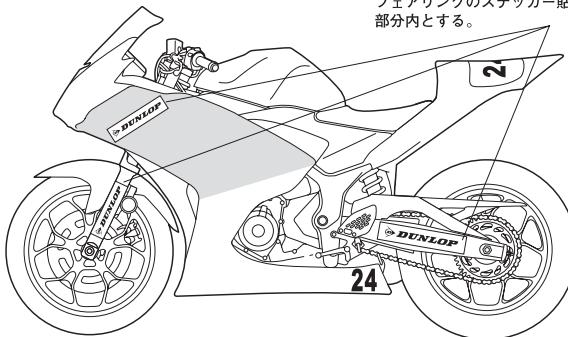
下記の位置に貼り付けなければならない。

車両 ステッカー位置	ロゴタイプ※	サイズ（横×縦）
フェアリング（左右各1カ所）、 フロントフォーク（左右各1カ所）、 スイングアーム（左右各1カ所）のいずれか。		17cm × 3.4cm

※ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなる。

図1

フェアリング（左右各1カ所）、
フロントフォーク（左右各1カ所）、
スイングアーム（左右各1カ所）のいずれか。
フェアリングのステッカー貼り付け位置は網掛け
部分内とする。



4-4-3-4 図1のスペース以外の場所は、ヘルメット・レーシングスーツ等、参加者の装具を含め、参加者自身の特定の広告を貼り付けできるが、MFJ および大会主催事務局によって拒否される場合があることを予め承知していなければならない。

拒否されるケース 他のタイヤマニファクチャーラー名、他のタイヤマニファクチャラーの商品名および公序良俗に反するもの、社会通念上奇異に感じられる名称など。※参加者の装具への貼り付けを含む。

4-4-3-5 公式行事

公式行事（表彰式、公式記者会見等）への出席、ならびに出席時のダンロップキャップの着用が義務づけられる。その場合は、他のキャップを被ることはできない。